

インタビュー
Interview

輝いている人

総社のいいものを
木のぬくもりで伝えたい

子どものころから制作してきた木版画と切り絵の作品集『ふるさと〜おどくう様の牛にはじまって〜』を出版したのが河合眞作さんだ。

「70歳の古希の記念に自伝史を作りたい」。これまでに作りためた作品の中から力作をまとめた。鬼ノ城や宝福寺、まちかど郷土館といった総社の名所旧跡を描いた作品が並ぶ。「季節感を大切に」とこだわる作品には、四季折々の自然や風習が描かれ、見るものの心を和ませる。

版画との出会いは10歳のころ。図工の時間に取り組んだゴム版がきっかけだった。「1枚の版から何枚も作品ができる楽しさと、色を変えれば味わいも変化する版画の面白さを知った」と語る河合さん。さらには、姉に届いた担任の先生から

の版画の年賀状に感動し、教えを受けることに。以来、毎年出す年賀状は版画。喪中がききも版画でという熱のいれようだ。

昭和60年には、市からの依頼により『広報そうじゃ』の表紙を制作した。小学校教諭として働く傍ら、平成3年まで計29回を担当。下絵を書き、現地に何度も足を運んだ。いったん刷った後で納得できず、下絵から練り直し、徹夜したことも。「苦しかったけど楽しかった。周りの人からの『楽しみにしている』との励まし声の原動力になった」と振り返る。

今年2月からは『そうじゃ』や『総社だより』の表紙を担当。「総社のいいものを木のぬくもりで伝えたい」と、意欲を見せる河合さん。第2、第3の作品集にも期待したい。

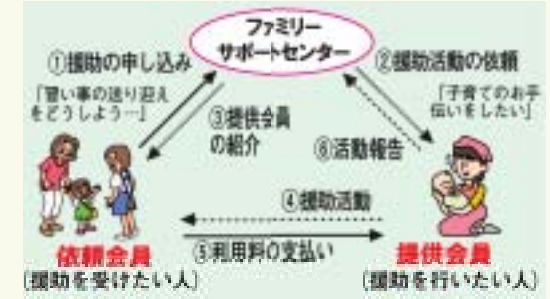
木版画と切り絵の作品集『ふるさと〜おどくう様の牛にはじまって〜』を出版した

河合 眞作さん (秦)



子どもの一時預かりサービス。安全・事故対策など援助活動に必要な講習を受けた提供会員が預かります

ファミリーサポートセンターは、育児の援助を受けたい人と育児の援助を行いたい人が会員となり、会員同士で支え合う仕組みです。「こんなとき誰かの助けがあればいいのに」、「子育てしている人の援助がしたい」と思っている人の会員登録をお待ちしています。



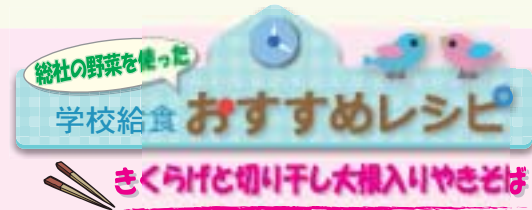
◆活動内容

- ・一時預かり
- ・病児保育
- ・送迎（保育園、幼稚園、学童保育、習い事、塾など）
- ・私的グループ活動の時の預かり

- ◆対象年齢 0歳から高校生まで
- ◆基本利用時間 午前7時～午後6時
- ◆利用料金
 - ・月曜日～金曜日（年末年始を除く）…1時間700円
 - ・土・日、祝祭日…1時間800円
 - ・病児の場合1時間800円（土・日、祝祭日は1時間900円）
 - ・時間外の場合は別料金
- ◆入会方法 印かんと入会金200円、年会費1000円を下記の事務所まで持参して申し込む
- ◆申込先・問い合わせ 総社市ファミリーサポートセンター（☎94-5665、中央六丁目6番地102、総社ふれあいセンター内）



学校まで迎えに行き、習い事や塾などに送り届ける送迎サービス。事前に顔合わせすることができるので安心です



- ◆材料（4人分）
- 豚肉スライス…50g ●蒸し中華めん…800g
 - 切り干し大根…20g ●生きくらげ…8g
 - キャベツ…100g ●ニンジン…50g
 - 玉ネギ…100g ●もやし…100g ●ネギ…12g
 - 紅しょうが…5g ●青のり粉…1g ●調味料…料理酒=15g、やきそばソース=40g、ウスターソース=30g、塩=少々、こしょう=少々、サラダ油=少々
- ◆作り方
- ①切り干し大根は水につけてもどし、もやしは洗って、それぞれザルにあげておく。
 - ②豚肉、生きくらげ、ニンジン、玉ネギ、キャベツ、ネギを食べやすい大きさに切る。
 - ③強火で熱したフライパンにサラダ油をしき、豚肉を炒める。
 - ④肉の色が変わったら、玉ネギ、ニンジン、ネギの順に炒める。さらに、キャベツ、もやし、きくらげを入れて炒める。
 - ⑤野菜に火が通ったら、蒸し中華めんと料理酒をふり入れる。具とめんが混ざるように炒め、調味料で味をととのえる。
 - ⑥青のり粉をふり、紅しょうがを添える。

その他の献立 パン 牛乳 コーンシチュー